2026 年 10 月 30 日　第 3570 回例会

ガバナー公式訪問　　於：　横須賀商工会議所

持続可能な
インパクトを
生み出そう

＜点鐘・開会＞　１２：３０　渡　邉　会長
＜斉　　唱＞　「それでこそロータリー」
＜ゲスト紹介＞　＊国際ロータリー第２７８０地区　ガバナー　中　込　仁　志　様
〃　地区幹事　長　南　光　紀　様
〃　第１グループＡＧ　髙　橋　隆　一　様
＊米山奨学生　朴　　裁　潤　様
＜新会員入会式＞　＊堀　川　敏　毅　会員



＊以　倉　周　平　会員



＜会 長 報 告＞　＊ガバナー事務所から
・『ガバナー・エレクト・ノミニーと語ろう！』について
日時：１１月２８日(土)　１５：００登録開始　１５：３０～１７：３０
場所：第一相澤ビル８F 会議室
＜委員長報告＞　＊直前幹事　鈴木(豊)会員より２０２５－２６年度　会計報告
＊監事　三堀会員より２０２５－２６年度　監査報告
＜米山奨学生へ奨学金授与＞
＜幹 事 報 告＞　＊例会終了後、中込ガバナーとの懇談会開催（例会場）
＜出 席 報 告＞　＊出席委員会　江口委員長から１０月３０日の出席報告

会　員　数	出席対象者数	出席数(ZOOM 出席数)	欠　席　数	ﾒｰｸｱｯﾌﾟ数	出　席　率
１０４名	９８名	６５(１)名	３３名	１１名	77.55%

メークアップ　：　植田、勝見、苅山、小山(陽)、齋藤(隆)、松岡、山下和志　各会員　地区大会参加

井上、萩原　両会員　ポリオ根絶募金活動参加
小澤、鈴木(之)　両会員　横須賀ＲＡＣ例会出席

＜ニコニコ報告＞

・国際ロータリー第２７８０地区ガバナー　中込仁志様、地区幹事　長南光紀様
ガバナー公式訪問の機会をご提供いただきありがとうございます。本日はよろしくお願いいたします。

・第１グループガバナー補佐　髙橋隆一様、ガバナー補佐付幹事　兼城　毅様
中込ガバナー公式訪問よろしくお願いいたします。

・三　役、比　護、小山㊎、池　田、岡田㊐、吉　住、杉　浦、濱　田、
野　坂、八　巻、田　中、西　生、新　倉、江　口、森、椿、若麻績、
梁　井、齋藤㊓、小林㊍、波　島、佐久間、田　邉、澤　田、岡田㊍、
松本㊊、小佐野、鈴木㊍、長　尾、鈴木㊌、三　堀、瀬　戸　各会員
国際ロータリー第２７８０地区ガバナー　中込仁志様、地区幹事　長南光紀様、ようこそお越しくださいました。

・三　役　髙橋㊎、江　沢、権　田、齋藤㊓、佐久間、鈴木㊏、飯塚㊐　各会員
米山奨学生　朴　裁潤さんようこそお越しくださいました。例会をお楽しみください。

・渡　邉　会長　先日の善光寺への親睦旅行には、多くの皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。また、せんべつや差し入れをくださった皆さまにもこの場をお借りして御礼申し上げます。お陰様で、心に残る素晴らしい旅となりました。事前の下見から当日の進行まで完璧に仕切ってくれた石田親睦委員長、真野副委員長をはじめ、親睦委員会の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。
善光寺では、若麻績会員のお力添えのおかげで、横須賀ロータリークラブとしての御祈祷を執り行うことができました。当日ご出席が叶わなかった皆様にも、ここにご報告申し上げます。また、善光寺大本願のお上人様への拝謁も叶い、ありがたいお説法とともに「和敬」と書かれた色紙を頂戴いたしました。
「和敬」とは「心を穏やかにして慎み、相手を敬うこと」を意味し、茶道でも重んじられている精神です。今年度は、この「和敬」というお言葉も大切にしながら、温かいクラブ運営を進めてまいりたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

・八　木、比　護、大野㊐、真　野、角　井、齋藤㊓、佐久間、田　邉、兼　城、臼　井、小林㈠各会員
先週行われた長野の親睦旅行会では、石田親睦委員長はじめ親睦委員会の皆様に大変お世話になりました。

・髙橋㊎、石　田、杉　浦、渡邉㊒、濱　田、加藤㊔、角　井、
齋藤㊓、澤　田、岡田㊍、石　川、根　岸、木　村　各会員
堀川敏毅会員、以倉周平会員入会おめでとうございます。共にロータリーライフを楽しみましょう。

・堀川㊏　会員 本日入会させていただきます。よろしくお願いします。

・以　倉　会員　本日入会させていただきます。楽しみにしております。是非よろしくお願いします。

・２番テーブル齋藤愼太郎マスター、齋藤麻梨サブマスター　１０月２６日(月)、メルキュール横須賀にて２番テーブルミーティングを行いました。週末に実施された親睦旅行のお話等で盛り上がりました。ご参加頂きました渡邉会長、権田副ＳＡＡ、会場をご用意いただいた吉住会員、ご参加いただいた皆様本当にありがとうございました。

・佐久間、柴　田、波　島、梁　井　各会員　齋藤㊗マスター、齋藤㊓サブマスター、会長、副ＳＡＡ、吉住会員楽しいテーブルミーティングを有難うございました。

・７番テーブル加藤元章マスター、堀川泰輝サブマスター　１０月２８日(水)、衣笠鳥丸にて７番テーブルミーティングを行いました。八木幹事、三宅さんにご出席頂きありがとうございました。小林一博会員のご厚意で、大変贅沢なひと時を味あわせて頂きました。親睦旅行トーク、近況報告、日本シリーズ等で大盛り上りでした。ご出席頂いた皆様ありがとうございました。

・八　木、石　田、兼　城、小林㈠、瀬　戸　各会員
加藤元章マスター、堀川泰輝サブマスター、幹事、小林一博会員、楽しいテーブルミーティングを有難うございました。

＜卓　　話＞　　「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第２７８０地区
ガバナー　中　込　仁　志　様



改めまして、中込仁志と申します。横須賀ロータリークラブの演壇は私にとって最も緊張する場と思っておりましたが、ガバナーノミニーの頃にご挨拶の機会をいただいて以来２度目となり、本日は少しリラックスしてお話しさせていただいております。

日頃より地区運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、第１グループの髙橋ガバナー補佐には大変ご尽力いただいており、残りの期間も安心してお任せできると思っております。本日の公式訪問の目的は、ＲＩ会長の考え方や方針をお伝えし、地区全体の活動意欲を高めることです。

まず一つ目は、クラブ事業の「点検」です。事業をやめるか続けるかの判断ではなく、地域社会のニーズに合っているか、会員の皆さまのモチベーションにつながっているか、全員参加の機会となっているかを改めて確認し、変化が必要だと感じた部分は、躊躇なく変えていただきたいと思います。

二つ目は、会員同士の相互理解です。ロータリーに入会して良かったことや感動したこと、今後やってみたいことなどを、ご自身の「ロータリーストーリー」として３分程度にまとめ、例会や懇親会で語り合うことで相互理解が深まります。

三つ目は、新会員への「感謝の気持ち」です。例会で居心地の良い環境をつくり、小さなことでも役割を担っていただくことで、新会員はクラブでの存在価値を感じることができます。

四つ目は、クラブの閉鎖性についてです。ＲＩ会長は、会員減少の大きな要因としてクラブの閉鎖性を危惧されています。特定の会員の意向でクラブの動向が左右されていないか、公平な発言の機会が失われてい



ないかをご確認ください。地域のリーダー的存在である横須賀ロータリークラブにはそのようなことはないと思いますが、心配がなくとも「そういうクラブにならないよう気をつけよう」と皆さまで話し合っていただければと思います。

そして、クラブの歴史を全員で共有してください。諸先輩方から設立の動機や意義、これまでのご苦労を伺ったうえで、５年後、１０年後にクラブをどうしていくかを考え、時代に沿った新しい発想を出し合い、責任ある役員の皆さまが、将来を見定めて方針を策定していっていただければと思います。

次に、地区大会でもご説明したモンゴルへの支援事業です。故小沢元ＲＩ理事が築かれた友情の輪を形にしたいとの思いから始めたもので、現在ＲＩの審査を受けております。済州島や台湾との交流にも小沢さんの存在があり、ご逝去後もその関係を大切にしようと、私のガバナー就任を機に姉妹地区としての関係を進めるお話をいただきました。そこに加わったのが、モンゴルの米山奨学事業の学友です。その方は日本式教育を導入するため新モンゴル学園を設立され、現在は国会議員を務めておられます。資源を外国に売るだけの国になりつつある自国の将来を憂い、資源を活かした製品を自ら作れるよう科学者を育てたいと、国立大学の化学・物理分野の実験室改修への協力を求められました。現地を訪れると５０年ほど前から使われているような古い実験機器が並んでおり、支援を決断しました。必要な資金１０万ドルのうち、当地区から財団活動資金等で6.6万ドルを拠出し、姉妹地区の韓国・済州地区から２万ドル、姉妹地区締結予定の台湾・台北地区から２万ドルのご協力をいただき、全額を集めることができました。小沢さんが育んでこられた友情と活動を引き継ぎ、実現に向けて走り出しております。

米山記念奨学会については、皆さまのご寄付により多くの学友が輩出され、世界各国で学友会が立ち上がっています。日本語を話す世界の若者たちが奨学会への恩を感じ、次の学友を手助けするという循環が生まれています。本年度はロータリー財団委員会と米山奨学委員会に、要請があれば強化期間にこだわらずいつでもクラブを訪問し、寄付のお願いは一切せず、寄付がどのように使われ、世界のどこで活かされているかをご説明するよう伝えております。ご興味があればぜひ委員会をお呼びください。

私はこれまでの諸先輩方からの教えを守りつつ、地域社会の変化や私たちに寄せられる期待にどう応えていくかを自ら判断し、残りの期間も新しい変化に向かって活動していく所存です。地区は本来、各クラブを支援するために存在する組織です。私は全委員会を挙げてご協力することをお約束いたしますので、どのようなことでも構いませんので、必要と感じたことがあれば遠慮なく地区にお申し付けください。

◆例会終了後、中込仁志ガバナーとの懇談会開催

＜閉会・点鐘＞　１３：３０　渡　邉　会長

週報担当　池　田　　亨